

C P D 単位取得について

資格制度委員会

資格者の皆さん・特に建築コスト管理士の皆さんへ

学習形態、内容をCPD登録しましょう。

当協会のCPD登録のための登録できる項目は、どんなものがあるか。気を付ける事はどんな事かを説明します。

A 自動認定・自己申請とは。

積算協会のCPD登録は、資格者の生涯にわたる、技術・知識の向上の過程を、単位認定により記録する事です。認定は、BSIJ-CPDシステムの分類と単位に記述してありますように、学習形態・内容によって、自己申請による単位認定と、自動認定があります。まず、自動認定は、当協会主催の講習会・勉強会・見学会・eラーニングの受講。及び、建築士連合会主催の各種講習会等です。上記以外は、自己申請をして登録しましょう。

B 建築コスト管理士の皆さんへ

●2012年4月1日以降の登録（単位認定基準が変わっています。）、自己申請をして登録しましょう。

自己申請の内容、【 】内は入力する時間数等、()内は単位数の制限。

自己申請は、年間でどれだけやったではありません。1日で実施した場合は1日ごと、複数日に渡るコースの場合は、複数の日時です。

だから、項目は1日（複数日）の学習項目ごとに、項目が起きます。

① 参加学習型

- 1) 外部プログラムによる講習・研修の参加【時間数】・・・他団体等の自動認定されない講習会。
- 2) 講演会・シンポジウムへの参加【時間数】
- 3) 大学等公開講座の受講【時間数】
- 4) 当協会全国大会への参加【時間数】（最大4時間まで）
- 5) 他団体・企業とも、現場見学会参加【時間数】（実質見学時間のみ）
- 6) 他団体・企業とも、海外視察【日数】（出・帰国日は対象外）
- 7) 官公庁依頼の海外調査、国際会議等参加【日数】
- 8) 他団体（企業とも）依頼の海外調査、国際会議等参加【日数】

② 情報提供型、(年間上限、6時間、12単位のみ)

- 1) 講習会、研修会等の講師【時間数】
- 2) 講演会・シンポジウム等の講師、パネリスト等【時間数】
- 3) 大学、専門学校等の講師【時間数】
- 4) 論文、調査研究報告等の発表【時間数】
- 5) 専門知識・技術を生かした社会貢献【時間数】

③ 技術協力型

- 1) 専門誌原稿執筆【2時間、1頁とし、1頁、2単位】
- 2) 学術論文執筆【2時間、1頁とし、1頁、2単位】
下記3項目、委員会活動、(年間上限3項目で、8単位のみ)
- 3) 協会本・支部役員会、委員会等の活動【1回、2時間とし、1回、1単位】
- 4) 他団体委員会活動【1回、2時間とし、1回、1単位】
- 5) 協会本部総会・支部総会【1回、2時間とし、1回、3単位】
- 6) 論文等の審査・査読【1件、2時間とし、1件、1単位】(年間上限、10単位のみ)

④ 自己学習型

- 1) 協会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による学習【CPD認定記事1件、1時間とし、1単位】(年間上限、10単位のみ)
- 2) その他団体等の会誌・機関紙及び市販の専門雑誌等の講読【記事1件、1時間とし、1単位】(年間上限、4単位のみ)
- 3) 専門図書による自己研【1冊、2時間とし、1単位】(年間上限、12単位のみ)

C 建築コスト管理士更新に際して、年間必要単位数は、16単位です。

よって、更新時より、過去5年間で、16単位×5年=80単位以上です。

D 支部での支援サービスについて、

ホームページからの、登録・申請がうまく行かない方、どうすればいいか迷っている方、パソコンが苦手な方、単位が足りない方、困っている方は、早めに支部宛に、気楽に、電話・メール・FAX等でご相談ください。

支部にて、アドバイス・代行入力もあります。

今すぐ登録と単位申請を！

TEL 迷わず支部に連絡を TEL